

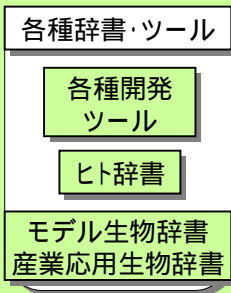
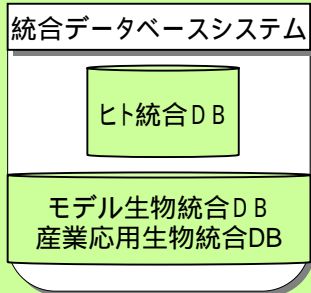
# 18年度成果の位置づけ(案)

情報・システム研究機構事務局

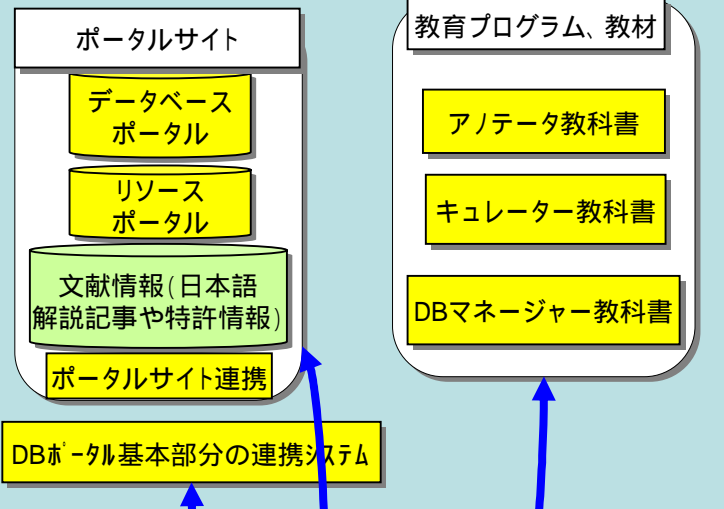
## 構築物

### 1. データベース統合戦略立案および評価(資料3-2)

**18年度調査報告**  
 ゲノム注釈とデータベース間の連携における課題調査  
 国内外のDBの俯瞰と質的量的比較  
 ライフサイエンス分野の研究の俯瞰調査  
 検索アルゴリズムを含めた知識情報技術の動向調査  
 臨床情報や医療統計の現状調査

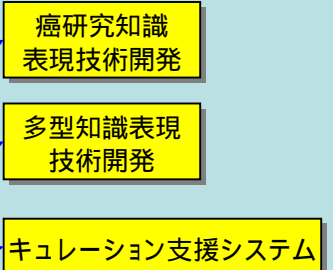


### 3. 人材の育成 4. ポータル構築(資料3-4)



### 2. データベース統合化基盤技術開発(資料3-3)

基盤知識表現技術開発(以下の辞書のプロト構築)  
 遺伝子(遺伝子名揺らぎ吸収システムの開発)  
 実験方法(メソッドオントロジとの連携システム開発)  
 解剖学用語(解剖学用語表示システムの開発)  
 バイオNLPリソースの整備



バンクコード俯瞰化のための索引技術開発

## 実施事項

統合化およびDB利便性向上のための動向調査・戦略立案支援

ヒト統合DB開発  
 モデル生物統合DB、産業応用生物統合DB開発

情報技術開発

ポータルサイト運用・高度検索サービス提供

広報・教育・国際対応・産学連携

教育プログラム、教材の開発  
 キュレータ・アノテータの養成  
 DB管理者、DB構築者の養成  
 DB高度利用者の養成

支援

プロジェクトDBの受け入れ  
 基盤的DBの支援  
 新規DBの開発支援

動向調査、及びそれに基づく戦略立案

辞書構築、知識整理、アノテーション実施  
 文献情報(日本語解説記事や特許情報)との連携  
 統合DB構築  
 医学、薬学関連情報との連携  
 生命研究、産業応用のソフト開発

文献中のテキストとそれ以外のデータからの知識獲得利用技術開発  
 統合DB構築、DB標準化、DB相互運用性向上技術開発

ポータルサイト、高度検索サービスのための各種情報収集と自動化技術の開発  
 意見集約システムの開発  
 パーソナル化技術の開発と日本語化

優先実施事項  
 18年度実施事項